

## 「努力と結果」

3年 K.T

人はよく、「結果よりその結果にたどりつく過程が大切だ」と言いますが、私はこの言葉は嘘だと思っています。皆さんはこの言葉を信じていますか。今回の感話は、結果と努力について、きれいごとを書くのではなく自分の率直な思いを書こうと思います。

この言葉の例えとしてよく使われるのは、テストの点数の例です。二人の生徒がいてそのうちの一人をA君とします。A君は、優秀で毎回のテストで満点に近い点数をとっています。もう一人の生徒をB君とします。B君は拙劣で毎回のテストで平均点以下をとるような生徒です。この二人の生徒が百点満点の同じテストをします。A君は少しさぼってしまって、結果は八十点でした。B君は勉強を頑張り、結果は七十点でした。この過程を知っている人にはB君の方が、とても頑張っていたのでA君より上です。しかし、過程を知らない人は結果で判断するしかありません。結果はA君の方が上です。周りの人はA君の方が真面目ですごいと思うでしょう。

このように最終的には過程よりも結果で見られるのです。しかし、人は過程が大切だといえます。それはなぜなのでしょう。私なりに考えてみました。

考えてみると、それは、結果ではなく過程を大切にすること、努力の価値や大切さを伝えているのだと思います。結果にばかりこだわり、努力を全くしない人が上にあがれるわけがありません。この場合の上とは、人によって様々ですが、私にとってはスポーツの試合などで勝ちあがっていくことやテストで高得点をとることです。皆さんが考える上に、あがって行くためにも必ず努力が必要だと思います。確かに人は結果でしか判断しないし、私も今まで結果で判断してきました。しかし、怠らずに努力をすれば結果がついてきます。努力を見て判断してくれないのなら結果が良くなるようにその分努力するしかありません。しかし、どれだけ努力しても結果がうまく出ないときもあります。この場合皆さんはこの努力は意味が無いと考えますか。それともこんな小さな努力ではダメだと考えますか。私はどちらの考えも頭にありません。私はその努力自体が違ふと考えます。もし死ぬ気で努力して結果が出なかったとき、こんな努力ではダメだと考えてしまったら私なら心が折れてもうあきらめてしまいます。だから私はその努力の方法を変えてみようと考えます。良い結果を出さないと良い評判は貰えないのなら、良い結果にあった努力の方法を考えます。

私は努力すればどんなことだってできると思っています。もちろん、空を飛ぶことや口から炎を出すなど非現実的なことは無理です。しかし、今私や皆さんが持っている夢を実現することは可能だと思います。なので、私はあの時ちゃんと行動していれば良かったと、後になって後悔しないように今できる限りのことをしようと思っています。結果にこだわり、努力をしないのは上に行けないけれど、結果にこだわって、その分死ぬ気で努力するなら上に行けると私は思います。私は努力する過程が大切だという言葉信じず、結果にこだわって努力してきました。これからもその考えは変わりません。しかし、周りの努力する過程を見てみようと思います。何かを判断するとき結果だけで判断するのではなく、その人の努力も含めて判断できる人になりたいです。